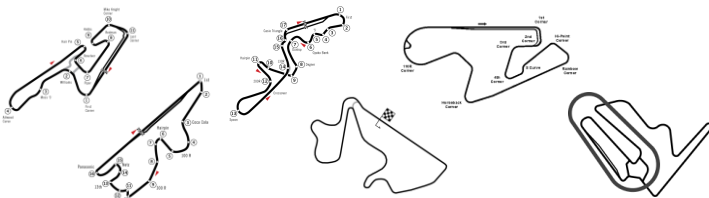
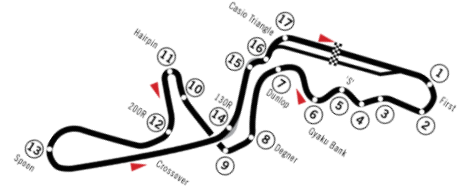


FIAF4 第5戦・第6戦 鈴鹿サーキット

- 開催日: 5月25日～26日
- 開催場所: 鈴鹿サーキット
- 天候: 晴れ
- 路面: ドライ
- 参加台数: 35台



Team Principal: Masashi Kawaguchi
Secretariat: PECORA INC.
Driver: Iori Kimura
Mechanic: Kazuya Tachi / Shouma Tachi

ゴールデンウィークのビッグイベントとして開催された、富士スピードウェイでの第二大会。高速サーキットとして知られる富士スピードウェイとは一転、第3大会、第5戦、第6戦の舞台となるのはチャレンジングでテクニカルな鈴鹿サーキットだ。レース開催時期は気温も高くテクニカルなサーキットであることもあり、マシンとドライバー両方の完成度が求められる。今大会から参戦する選手も多く、混戦が予想される中鈴鹿大会のエントリー台数は35台となった。

【スケジュール】 [SCHEDULE]

2019 FIA F4 選手権 第5/6戦 鈴鹿大会スケジュール

5月22、23日	F4プライベートテスト
5月24日	OTG FIAF4 トレーニング①
	OTG FIAF4 トレーニング②
5月25日	公式予選
	FIAF4選手権 第3戦 決勝 (11 LAPS)
5月26日	FIAF4選手権 第4戦 決勝 (11 LAPS)

F4プライベートテスト

5月22日-----

20日から2日間、SRSに参加の為F4とは全く特性の違う車両に乗り鈴鹿サーキットを走行しておりました。そこでの走行で自分のF4の走り方に合わせるのに少々苦戦してしまい、午前中は計画していたプログラムを全て着手することが出来ませんでした。

午後からは走りと気持ちを入れ替えセットアップを色々としりこみながらマシンの完成度を高める為の作業に集中でき、午前の遅れを取り戻すことが出来ました。しかし、トップとはまだ3秒近く遅れがあるので引き続き作業を進めて参りたいです。

5月23日-----

1本目の走行はもっとも気温が高い1時からのスタートと変則的なスケジュールとなったテスト2日目。気温が高い中で走行時にタイヤのグリップがすぐに落ちてしまったり、マシンバランスが変則的に変わったりとドライビングに苦労しました。しかし、最後の走行ではアンバランスさも収まってきており方向性が見えたので明日の公式テストで煮詰めて参りたいと思いました。

OTG FIAF4 トレーニング

1 回目 75 分間-----

1 本目は昨日の最後に試したセットアップをベースセッティングとして細かい部分を調整する作業に入りました。しかし、昨日の最後のセッションと車のバランスが大きく変わってしまっており、なぜここまで挙動が変わるのか原因は不明なのですが全体的なグリップレベルが低い感触になっておりました。その後も細かい部分を色々に変えながら75分間走り切りましたがこれといった改善もなく1セッション目が終わってしまいました。

2 回目 75 分間-----

マシンのセッティングを変更し2セッション目を走りました。

まずは前半20分はユーズドを使いレースラップくらい走った場合のペースの変化を確認しました。

セットアップを大きく変更したことが功を奏したこともあり、ラップタイムは1本目のニュータイヤのタイムよりも向上し、そのままニュータイヤを入れて2回目のアタックを行いました。

既に1回目のセッションでニューを入れてしまったドライバーも幾らかはいた為実際の順位は12、13番手くらいだとは思いますが7番手でセッションを終えることが出来ました。

FIAF4 鈴鹿大会 公式予選

レースウィークとしては久々に雨の心配が遠のく中、5月25日（土）の午前8時05分にFIA-F4選手権第5戦／第6戦の公式予選がドライコンディションで始まった。

30分間のアタックに向け、グリーンランプが点灯するといっせいに35台のマシンがコースインしていく。多くのマシンが最初の計測ラップを2分13～14秒とゆっくりとしたペースで周回する中、木村偉織は1周目から2分09～10秒台でラップを刻んでいく。

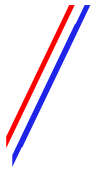
そして本格的なアタックが始まったのは計測2周目から。ライバル勢が08秒台で続く。その中、木村偉織はタイムアップに苦しみ、09秒台でラップを続けた。午前8時13分、上位陣はさらにタイムアップ。トップが07秒台に突入したのをはじめ、他のドライバーも続々と07秒台へ、僅差のオーダーが出来上がる。

しかし、この直後の午前8時14分にS字で桜井孝太郎がスピンアウトしグラベルに捕まってしまったことで、黄旗区間が発生することに。そこでタイムアップするチャンスを失った木村偉織は、後半曲がりにくいマシンをねじ伏せ08秒台に突入、しかし7秒台につけることは無く、悔しい16番手タイムとなった。

Driver's voice-----

7番手タイムで終えた昨日の公式練習後から今朝までチームと時間の許す限りデータやオンボードを見ながらミーティングを重ね、土曜日の予選では少しリスクな部分ではありましたがポールポジションを狙うべくセットアップを大幅に変更し予選に臨みました。しかしマシンは改善するどころか悪くなってしまい他のライバルがアクセル全開で曲がっていけるような箇所でも行けずに我慢しなくてはならない。そんな予選となってしまいました。16番手という結果は本当に悔しく、ドライビングで、もう少し出来ることは無かったのかと考え続けました。

しかし、思ったような走りにもつながらず納得がいけないものとなってしまいました。気持ちを切り替えて決勝に挑みたいと思います。



■ FIAF4 第5戦 鈴鹿大会 [13位]

暑さが増す中、午後1時45分にフォーメーションが始まった第5戦決勝は11週の戦い。グリッドキッズがいつもより華やかな雰囲気醸すダミーグリッド上に35台のマシンが整列、1周の後午後1時49分にレッドシグナルが消灯した。スタートでややローンチが遅れてしまった木村偉織は1コーナまでに3台に並びかけられてしまった。しかし、その後の1コーナでの混乱を上手く活かし、順位を戻す。そしてその後数周は混乱があちらこちらで発生する中上手く前車をパスし13位まで順位をアップした。しかし、ここから12番までの車はペースが速い集団であり、少しずつ離されてしまう展開に。タイヤを労りながら走った甲斐もあり後半は前者に詰め寄りプレッシャーをかけ続ける展開となったがやはりここは抜きにくい鈴鹿。そのままの順位で惜しくもコンマ数秒足らずでフィニッシュとなった。

Driver's voice-----

スタートで蹴りだしはよかったのですがそこからの加速の部分で失敗してしまい、順位をドロップしてしまいました。しかし、その後の混乱で順位を取り戻し3つポジションを上げられたのは評価したいと思いました。しかし、後半のペースが上がるまでの所でござってしまったりしたのが勿体なかったなと悔しい気持ちでいっぱいです。レース中にドライビングを試行錯誤し、もっと早い段階で車のポテンシャルをフルに発揮出来るように自分自身精進して参りたいと思います。



■ FIAF4 第6戦 鈴鹿大会 [9位 入賞]

夏を思わせる暑さの中での戦いとなった前日の第5戦。しかし、日曜朝の第6戦決勝は午前8時のコースインということで、爽やかな風がそよぐ絶好のドライコンディションでの戦いとなった。午前8時15分、35台全車がフォーメーションラップをスタート。1周の後、午前8時19分にレッドシグナルが消え、全車がスタートを切った。ポールポジション先頭に、集団が1～2コーナーをクリアするが、その中で後続の車両が追突する格好となり、1台が2コーナー付近でスピン。接触したもう1台もコースアウトしてバリアにクラッシュするが、このアクシデントを避けようと、数台のマシンがグラベルに逃げるなど混乱が発生する。ところが、オープニングラップの波乱はこれに止まらなかった。ヘアピンに差し掛かった集団の中で、車両が仕掛けようとしたところでマシンが乗り上げるような形でコントロールを失い、ヘアピンイン側のグリーンを滑走。幸いにもヘアピンをコーナリング中の車両を巻き込むことはなかったが、そのままヘアピン奥のバリアにクラッシュ。また、アクシデントを避けようとした集団の中でイン側グリーンに飛び出し、こちらはヘアピンに差し掛かったドライバーとクラッシュしてしまう。5台が1周目にリタイア、ピットインしマシン修復を受ける車両もあった。レースがリスタートしたのは4周終了時点。スタートでポジションを3つ上げた木村偉織はセーフティカー再開後前を走る車両を1コーナでアウトからパス。その後は前方にて発生したクラッシュを回避、その流れで前車を追いながらゴールラインを通過。トップより1秒近くペースが遅い中、9位で入賞することが出来た。

Driver's voice-----

第6戦は結果としては満足出来たものではありませんでしたが抜くのが難しいと言われている鈴鹿サーキットで5台を実力でパスし、入賞を手に入れたという点では今シーズンのレース活動の中で一番内容のいいレースとなりました。車の性能を引き出すところや、位置取りなどレース中に今まで学んだことをフルに活かすことができました。しかし、どうしても車の全体的なバランスレベルが低く、トップとの差は依然とありますが更にドライビングを上達するべく努力したいです。

■ 次戦にむけて 反省点・まとめ

今回の鈴鹿大会ではレースウィーク前に行ったテストとレースウィークからの走行時の気温や路面のコンディションが大きく変わってしまい、持ち込みのセッティングを大きく外してしまったことが敗因だと考えております。

その為、走り始めは周りが7秒前半で走ってる中
12秒台で走っており、とてもタフな週末になりました。

しかし、前回の富士大会での反省点であった
「自分が意識していたドライブ」という点では
常にこの走りが本当に速いのか？と疑問を
持ちながら走行することが出来、
車とドライバーを走りながら両方向上出来たことが
とてもよかったと思いました。

しかし、自分自身の車の理解度やセットアップ力の
点において今大会では多くを学ぶことが出来ましたが
まだまだ足りない部分が多く、
次戦に向けて更に勉強しなければと
痛感しました。

シルバースターレーシング代表・関係者の皆様、
スポンサー各社様、IORI SUPPORTERSメンバーの皆様、
日常生活をサポートして下さる家族、
鈴鹿ラウンドでも応援して頂き
本当にありがとうございました。

今大会は成長を大いに感じ、一番収穫のあった
レースだと自信を持って言えます。

今後もこれを継続し、常に上を目指して努力を積み重ねて参ります。
これからも応援宜しくお願い致します。



再び東側に戻り、第4大会の舞台はGW中の
第2大会の舞台ともなった日本屈指の高速サーキット
富士スピードウェイ。

次戦は2か月のスパンが空いており、
シーズン後半戦となる。

第2大会では、反省点の多いレースであったこともあり、
リベンジを果たすべくトレーニングなど準備に励む。



SUZUKA GT300km

2019 FIA-F4選手権 第5戦&第6戦

FIA-F4

2019-05-24

WEATHER: Fine

COURSE: Dry

国際レーシングコース 5.807km

FIA-F4 OTG F4トレーニング総合結果表

Pos.	No.	Cls.	Driver	Team	BestTime	Delay	1st Sess.	2nd Sess.
1	6	-	1 太田 裕之進/K.OHTA	SRS/コチラレーシング	2'07.603	163.83km/h	● 2'07.603	2'08.243
2	7	-	2 佐藤 遼/R.SATO	SRS/コチラレーシング	2'07.614	0.011	● 2'07.614	2'08.620
3	37	-	3 平良 響/H.TAIRA	FTRSスカラシップF4	2'07.940	0.337	● 2'07.940	
4	5	-	4 三宅 淳嗣/A.MIYAKE	HFDP/SRS/コチラレーシング	2'08.022	0.419	● 2'08.022	2'09.118
5	24	-	5 平木 玲次/R.HIRAKI	Media DoADVICS影山F110	2'08.174	0.571	● 2'08.174	2'08.698
6	60	-	6 菅渡 冬悟/T.SUGANAMI	OTG DL F110	2'08.198	0.595	● 2'08.198	2'08.727
7	77	-	7 大井 隼史/T.OHI	WARMTECH SkillSpeed	2'08.206	0.603	● 2'08.206	2'09.274
8	63	-	8 川合 幸太/K.KAWAI	DENSO ルボース IPG F4	2'08.221	0.618	● 2'08.221	2'08.866
9	36	-	9 野中 誠太/S.NONAKA	FTRSスカラシップF4	2'08.311	0.708	● 2'08.311	2'09.077
10	11	-	10 石崎 竜一郎/R.ISHIZAKI	札幌トヨタ Rn-sports F110	2'08.378	0.775	● 2'08.378	2'08.431
11	9	-	11 塩澤 佑介/Y.SHIOTSU	ATEAM Buzz Racing	2'08.438	0.835	● 2'08.438	2'09.048
12	62	-	12 神 暁也/S.JIN	DENSO ルボース JPM F4	2'08.443	0.840	● 2'08.443	2'09.147
13	39	-	13 岡本 大地/D.OKAMOTO	SACCESS RACING F4	2'08.483	0.880	● 2'08.483	2'08.483
14	14	-	14 桜井 孝太郎/K.SAKURAI	ZAP SPEED スカラシップ	2'08.498	0.895	● 2'08.498	2'09.116
15	8	-	15 小山 希樹/H.KOYAMA	ELISLITE Honda Racing	2'08.789	1.186	● 2'08.789	2'09.657
16	20	-	16 本村 隼雄/I.KIMURA	Silver Star Racing	2'08.805	1.202	● 2'09.103	● 2'08.805
17	65	-	17 大井 裕光/M.OHTAKE	SHARLET RACING	2'09.023	1.422	● 2'09.150	● 2'09.023
18	15	-	18 篠原 拓朗/T.SHINOHARA	Media DoADVICS影山F110	2'09.422	1.819	● 2'09.939	● 2'09.422
19	16	-	19 渡辺 大祐/D.WATANABE	Media DoADVICS影山F110	2'09.505	1.902	● 2'09.972	● 2'09.505
20	31	-	20 三枝 拓己/T.MITSUEDA	RiNoA Racing project	2'09.515	1.912	● 2'09.515	2'09.589
21	25	-	21 堀尾 風光/F.HORIO	SAMURAIサポーターズ F4	2'09.622	2.019	● 2'10.204	● 2'09.622
22	12	-	22 植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports SEIDO-YA	2'09.661	2.058	● 2'09.661	2'10.548
23	73	-	23 塩 剛佑/S.HANAWA	カロラ新栄城レオンキッズレーシング	2'09.753	2.150	● 2'10.922	● 2'09.753
24	28	INDP	1 齋藤 真紀雄/M.SAITO	CS Marketing ES	2'09.770	2.167	● 2'10.073	● 2'09.770
25	3	INDP	2 佐藤セム/イヅミ/S.SATO	結婚の学校 フォードモータースポーツ	2'10.038	2.435	● 2'10.038	2'11.205
26	2	INDP	3 仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS Racing Team	2'10.119	2.516	● 2'10.119	2'10.957
27	98	INDP	4 IKARI	TOEI BJ Racing F110	2'10.204	2.601	● 2'10.263	● 2'10.204
28	10	INDP	5 堀田 誠/M.HOTTA	アドヴィックスムータレーシング	2'10.248	2.645	● 2'10.552	● 2'10.248
29	86	INDP	6 大坂 八郎/H.OSAKA	COLLET F110	2'11.271	3.668	● 2'11.271	2'11.528
30	21	INDP	7 RYO	M2 HDR Racing	2'11.358	3.755	● 2'11.738	● 2'11.358
31	43	INDP	8 吉田 基良/M.YOSHIDA	ZAP SPEED F110	2'11.904	4.301	● 2'11.904	2'12.137
32	29	INDP	9 井出 博司/Y.IDE	RSイデア F110	2'12.314	4.711	● 2'12.917	● 2'12.314
33	27	INDP	10 SYUJI	B-MAX ENGINEERING F4	2'12.400	4.797	● 2'12.400	2'13.513
34	71	INDP	11 大山 正芳/M.OHYAMA	ダイワ通商/NAGISA AUTO	2'13.050	5.447	● 2'13.050	2'13.415
35	23	INDP	12 YUGO	S2R Racing	2'15.269	7.666	● 2'17.348	● 2'15.269

SUZUKA GT300km
2019 FIA-F4選手権 第5戦 & 第6戦
FIA-F4

No. 7 2019-05-25 15:20
WEATHER: Fine
COURSE: Dry
国際レーシングコース 5.807km

第5戦 決勝正式結果表

Pos.	No.	Cls.	Driver	Team/Car	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	6	-	太田 格之進/K.OHTA	SRS/コチラレーシング	11	23'46.320	161.22km/h		2'09.024
2	7	-	佐藤 蓮/R.SATO	SRS/コチラレーシング	11	23'48.190	1.870	1.870	2'09.275
3	5	-	三宅 諄詞/A.MIYAKE	HDFP/SRS/コチラレーシング	11	23'48.831	2.511	0.641	2'09.293
4	60	-	菅波 冬悟/T.SUGANAMI	OTG DL F110	11	23'50.629	4.309	1.798	2'09.196
5	37	-	平良 響/H.TAIRA	FTRSスカラシップF4	11	23'51.061	4.741	0.432	2'09.226
6	39	-	岡本 大地/D.KAMOTO	SACCESS RACING F4	11	23'52.780	6.460	1.719	2'09.224
7	63	-	川合 孝法/K.KAWAAI	DENSO ルポーセ IPG F4	11	23'53.259	6.939	0.479	2'09.293
8	24	-	平木 玲次/R.HIRAKI	Media DoADVICS影山F110	11	23'54.340	8.020	1.081	2'09.596
9	62	-	神 晴也/S.JIN	DENSO ルポーセ JPM F4	11	23'55.797	9.477	1.457	2'09.595
10	11	-	石崎 竜一郎/R.ISHIZAKI	札幌トヨタ Rn-sports F110	11	23'57.927	11.607	2.130	2'09.577
11	9	-	塩津 佑介/Y.SHIOTSU	ATEAM Buzz Racing	11	24'00.904	14.584	2.977	2'10.022
12	15	-	佐藤 悠輔/Y.SUNOMURA	Media DoADVICS影山F110	11	24'01.938	15.618	1.034	2'10.032
13	20	-	木村 偉雄/I.KIMURA	Silver Star Racing	11	24'02.200	15.880	0.262	2'10.139
14	30	-	大井 健史/T.OHI	WARMTECH SkillSpeed	11	24'02.078	15.758	0.678	2'10.085
15	14	-	桜井 孝太郎/K.SAKURAI	ZAP SPEED スカラシップ	11	24'03.994	17.674	0.916	2'09.997
16	77	-	大井 健史/T.OHI	WARMTECH SkillSpeed	11	24'04.960	18.640	0.966	2'10.130
17	8	-	小山 美姫/M.KOYAMA	#USLETE Honda Racing	11	24'13.521	27.201	8.561	2'10.195
18	25	-	堀尾 風光/F.HORIO	SAMURAIサポーターズ F4	11	24'14.045	27.725	0.524	2'10.559
19	3	INDP	佐藤 悠輔/Y.SUNOMURA	結婚の学校 フィールドモータースポーツ	11	24'19.523	33.203	5.478	2'11.055
20	12	-	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports SEIDO-YA	11	24'20.797	34.477	1.274	2'11.199
21	98	INDP	IKARI	TOEI BJRacing F110	11	24'25.877	39.557	5.080	2'11.079
22	28	INDP	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CS Marketing ES	11	24'27.058	40.738	1.181	2'11.752
23	31	-	三枝 祐己/T.SAIGUSA	RiNoA Racing project	11	24'27.159	40.839	0.101	2'10.678
24	10	INDP	堀田 誠/M.HOTTA	アドヴィックスムータレーシング	11	24'30.210	43.890	3.051	2'11.877
25	21	INDP	RYO	M2 HDR Racing	11	24'37.963	51.643	7.753	2'12.640
26	86	INDP	大阪 八郎/H.OSAKA	COLLET F110	11	24'38.612	52.292	0.649	2'12.435
27	2	INDP	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS Racing Team	11	24'39.127	52.807	0.515	2'11.188
28	16	-	渡辺 大祐/D.WATANABE	Media DoADVICS影山F110	11	24'48.119	101.799	8.992	2'11.136
29	29	INDP	井出 諄司/Y.IDE	RSイディア F110	11	24'53.212	106.892	5.093	2'13.772
30	73	-	堀 誠佑/S.HANAWA	カローラ新築城レオンキッズレーシング	11	24'55.845	109.525	2.633	2'10.510
31	27	INDP	SYUJI	B-MAX ENGINEERING F4	11	25'06.388	120.068	10.543	2'14.551
32	43	INDP	吉田 基良/M.YOSHIDA	ZAP SPEED F110	11	25'06.616	120.296	0.228	2'13.523
33	71	INDP	大山 正秀/M.OYAMA	ダイワ通商/NAGISA AUTO	11	25'16.904	130.584	10.288	2'13.142
34	23	INDP	YUGO	S2R Racing	11	25'29.112	142.792	12.208	2'16.819
35	36	-	野中 誠太/S.NONAKA	FTRSスカラシップF4	11	25'33.185	146.865	4.073	2'09.906

以上 規定周回数完走:

開始時刻: 13:49'54
終了時刻: 14:13'40

レース中のベストタイムは No. 6 太田 格之進/K.OHTA SRS/コチラレーシング 2'09.024 5/11 162.03km/h

規定周回数 9

ベネチア No.36 ドライビングスクールベネチア 2019 FIA-F4 Spr 第15条1.2) (危険なドライブ行為)

計時委員長: Hiroyuki TAKAI

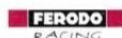
競技長: Tatsuya MATSUMURA

審査委員長: Kazuhiro TSUGE

高井 浩至

松村 達也

松植 和慶



SUZUKA GT300km
2019 FIA-F4選手権 第5戦&第6戦
FIA-F4

No. 10 2019-05-26 9:50
WEATHER: Fine
COURSE: Dry
国際レーシングコース 5.807km

第6戦 決勝正式結果表

Pos.	No.	Cls.	Driver	Team/Car	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	6	-	1 太田 悟之進/K.OHTA	SRS/コチラレーシング	11	28'48.197	1.33.06km/h		2'08.941
2	7	-	2 佐藤 運/R.SATO	SRS/コチラレーシング	11	28'48.374	0.177	0.177	2'08.907
3	5	-	3 三宅 淳嗣/A.MIYAKE	HFDP/SRS/コチラレーシング	11	28'49.392	1.195	1.018	2'09.048
4	60	-	4 菅波 冬悟/T.SUGANAMI	OTG DL F110	11	28'51.228	3.031	1.836	2'09.299
5	37	-	5 平良 響/H.TAIRA	FTRSSカラシップF4	11	28'52.197	4.000	0.969	2'09.202
6	63	-	6 川合 孝汰/K.KAWAII	DENSO ルボーセ IPG F4	11	28'54.801	6.604	2.604	2'09.458
7	36	-	7 野中 誠太/S.NONAKA	FTRSSカラシップF4	11	28'55.411	7.214	0.610	2'09.487
8	24	-	8 田中 裕也/Y.TANAKA	Media DoADVICS影山F110	11	28'56.487	8.290	1.076	2'09.582
9	20	-	9 木村 隼雄/H.KIMURA	Silver Star Racing	11	28'58.255	10.058	1.768	2'09.873
10	9	-	10 塩澤 佑介/Y.SHIOTSU	ATEAW Buzz Racing	11	29'02.688	16.686	2.188	2'09.971
11	11	-	11 石崎 竜一朗/R.ISHIZAKI	札幌トヨタ Rn-sports F110	11	29'03.730	15.533	1.725	2'10.041
12	15	-	12 篠原 拓朗/T.SHINOHARA	Media DoADVICS影山F110	11	29'04.765	16.568	1.035	2'10.238
13	14	-	13 板井 孝太郎/K.SAKURAI	ZAP SPEED スカラシップ	11	29'05.124	16.927	0.359	2'09.556
14	12	-	14 橋田 正幸/M.UEDA	Rn-sports SEIDO-YA	11	29'07.483	19.286	2.359	2'10.664
15	98	INDP	15 IKARI	TOEI BJ Racing F110	11	29'11.091	22.894	3.608	2'10.609
16	73	-	16 堀 隼佑/S.HANAWA	カローラ新英城レオンキッズレーシング	11	29'11.764	23.567	0.673	2'10.726
17	3	INDP	17 佐藤セルゲイ/S.SATO	結婚の学校 フィールドモータースポーツ	11	29'14.136	25.939	2.372	2'11.078
18	28	INDP	18 齋藤 真紀雄/M.SAITO	CS Marketing ES	11	29'19.469	31.272	5.333	2'11.307
19	31	-	19 三枝 拓己/T.SAIGUSA	RiNoA Racing project	11	29'19.952	31.755	0.483	2'10.878
20	10	INDP	20 堀田 誠/M.HOTTA	アドヴィックスムータレーシング	11	29'20.336	32.139	0.384	2'11.325
21	2	INDP	21 仲尾 恵史/H.NAKAO	TCS Racing Team	11	29'21.781	33.584	1.445	2'10.474
22	86	INDP	22 大阪 八郎/H.OSAKA	COLLET F110	11	29'24.792	36.595	3.011	2'12.470
23	29	INDP	23 井出 諒司/Y.IDE	RSイデア F110	11	29'35.598	47.401	10.806	2'12.526
24	71	INDP	24 大山 正芳/M.OYAMA	ダイワ通商/NAGISA AUTO	11	29'36.693	48.496	1.095	2'13.585
25	27	INDP	25 SYUJI	B-MAX ENGINEERING F4	11	29'37.651	49.454	0.958	2'13.874
26	43	INDP	26 吉田 基良/M.YOSHIDA	ZAP SPEED F110	11	29'51.820	1'03.623	14.169	2'12.724
27	23	INDP	27 YUGO	S2R Racing	11	29'54.566	1'06.369	2.746	2'15.626
以上 規定周回数完走:									
62	-	-	神 晴也/S.JIN	DENSO ルボーセ JPM F4	8	22'26.585	3Laps	3Laps	2'09.582
39	-	-	岡本 大地/D.OKAMOTO	SUCCESS RACING F4	8	23'07.062	3Laps	40.477	2'09.681
25	-	-	堀尾 風光/F.HORIO	SAMURAIサポートーズ F4	8	29'37.491	3Laps	6'30.429	2'11.921
80	-	-	大竹 将光/M.OHTAKE	OTG DL F4CHALLENGE	0		11Laps	8Laps	
8	-	-	小山 美穂/M.KOYAMA	#USLETE Honda Racing	0				
16	-	-	渡辺 大祐/D.WATANABE	Media DoADVICS影山F110	0				
77	-	-	大井 偉史/T.OHI	WARMTECH SkillSpeed	0				
21	INDP	-	RYO	M2 HDR Racing	0				

開始時刻 : 08:19'29
SC導入 : 08:21'09 (0Lap) ~ 08:33'11 (4Laps)
終了時刻 : 08:48'17

レース中のベストタイムは No. 7 佐藤 運/R. SATO SRS/コチラレーシング 2'08.907 8/11 162.17km/h

規定周回数 9

ペナルティ
No. 21 競技結果に40秒加算 2019 FIA-F4 SpR 第15条1.2) (危険なドライブ行為)
No. 77 罰戒及び競技結果に40秒加算 2019 FIA-F4 SpR 第15条1.1) (危険なドライブ行為)
No. 39 競技結果に40秒加算 2019 FIA-F4 SpR 第15条1.1) (危険なドライブ行為)

計時委員長: Hiroyuki TAKAI

競技長: Tatsuya MATSUMURA

審査委員長: Kazuhiro TSUGE

高井 浩至

松本 達也

栢植 和廣

